



リスクアセスメント基礎コース [ライブ配信セミナー]

時 間		講義科目	概要
9:20~9:30	10	事務連絡	
9:30~10:35	65	リスクアセスメント概論 (1) ～リスクアセスメントの基礎～	ISO/IEC の安全に関する規格の根源であるガイド 51 では、安全性確保の前提としてリスクアセスメントを要求しています。そこから派生して、製品分野別の規格でも、リスクアセスメントを要求するものも増えてきました。 本講座では、ガイド 51 の内容を基に、ISO/IEC にかかわるすべての製品において安全性のベースラインとなるリスクアセスメント、およびその具体化ツールである R-Map の成り立ちについて解説します。
10:45~11:50	65	リスクアセスメント概論 (2) ～リスクアセスメントのプロセス～ • R-Map を使ったリスクの評価方法 （開発段階、市販後における対応手順） • リスクアセスメント応用手法の紹介	本講座では、リスクアセスメントのプロセスの流れについて開発・市販後の各ステージで、事例やツール（リスクアナリシス表、セーフティモジュール、エネルギー伝達図等）を交えて解説します。 市販後では、リコール判断に迷うケースも具体的に紹介します。 また R-Map 応用手法として、HHA/ペルソナ/SHELL モデル/リスクバイアスについて予備知識として、手法の概要と使い方のポイントを説明します。
11:50~12:50	60	昼食休憩	
12:50~13:55	65	リスクアセスメント概論 (3) ～リスクアセスメント手法の実際～ • セーフティモジュール法 • PSPTA (Product Safety Potential Tree Analysis) 法	本講座では、見つけたリスクの初期評価からリスク低減策によって「安全」レベルまでリスクを下げる方法（セーフティモジュール法）と、危害シナリオの遷移状態を、論理記号を用いて記述し、危険状態を回避するための保護方策をリスクが C 領域に到達するまで設計する手法（PSPTA 法）について具体的に学びます。次の演習に対する導入講座にもなります。
14:00~16:50	170	リスクアセスメント演習 • 自転車を用いてリスクアセスメントを体感する	本演習では、身近な製品を題材に、潜在するリスクを見つけること、そのリスクを評価すること、さらにはリスク低減策を考案してリスクを安全レベルにまで下げるグループ演習を行います。 特に製品に対しての専門的な技術知識が無くても、「危険」なリスクを許容可能な「安全」レベルにまで下げる一連のプロセスを体験で学びます。 （もちろん技術知識があれば、より深い考察ができます）
16:50~17:00	10	質疑応答	